

## 新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	遠視性屈折異常弱視における不同視の視力予後への影響
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2011年から2021年までに新潟大学医歯学総合病院眼科を受診し遠視性屈折異常弱視と診断された5歳以下の患者さん。
③概要	弱視とは視力の発達が障害され視力が出にくい状態であり、適切な治療で視力が改善する疾患です。原因には斜視、屈折異常、不同視、形態覚遮断があります。不同視による弱視は片方の眼の視力が良いことが多く家族や本人が気付かず発見が遅れることがしばしばあります。不同視弱視の中でも最も頻度が高いのが遠視性不同視弱視で、遠視性屈折異常弱視にも合併します。今回私たちは過去約10年間に当院を受診し遠視性屈折異常弱視と診断された症例を後方視的に解析し、不同視が視力の予後にどの程度影響するのかを明らかにすることを目的とし、本研究を計画しました。
④申請番号	2023-0031
⑤研究の目的・意義	遠視性屈折異常弱視の患者さんにおいて不同視が視力の予後にどの程度影響するのかを明らかにすることで、治療の必要性や開始時期などの情報を得ることができるため。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2024年12月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、眼科学的検査結果を利用します。提供して頂いた情報については氏名を消す代わりに研究用の番号をつけて管理し、その情報だけでは誰のものかわからない状態で利用します。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴(年齢、性別、既往歴)、眼科学的検査結果
⑨利用する者の範囲	新潟大学眼科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	本学：新潟大学医歯学総合病院パートタイム医員 長谷川友加里
⑪お問い合わせ先	本学：新潟大学医歯学総合病院パートタイム医員 長谷川友加里 Tel：025-227-2296 E-mail：yukari27@med.niigata-u.ac.jp